

## 議員と話す会（市民への報告及び意見交換の場）報告書

|                  |                                                |           |
|------------------|------------------------------------------------|-----------|
| 開 催 日 時          | 令和 8 年 7 月 2 3 日（ 木 ） 1 9 時 0 0 分～ 2 0 時 3 0 分 |           |
| 開 催 場 所          | 松阪公民館                                          |           |
| 委 員 会 名          | 文教経済委員会                                        |           |
| 出 席 議 員          | ① 市野幸男 ② 小野建二 ③ 酒井由美<br>④ 西口真理 ⑤ 深田 龍 ⑥ 山本芳敬   |           |
|                  | 司会進行者                                          | 西口真理      |
|                  | 報 告 者                                          | 市野幸男      |
|                  | 記 録 者                                          | 酒井由美・深田 龍 |
| 参 加 人 数          | 2 2 名                                          |           |
| 意見・要望等<br>主な質疑応答 | 別紙のとおり。                                        |           |
| 報告者の所感           | 別紙のとおり。                                        |           |

松阪市議会議長 濱口 高志 様

令和 8 年 7 月 2 7 日

松阪市議会市民への報告及び意見交換の場実施要綱第 8 条の規定により提出します。

報告者 市野幸男

## 意見交換

【テーマ こどもたちの居場所・環境  
づくり】

### 【開催形式】

ワークショップ形式

## 放課後児童クラブ等について(1班)

### 【意見・課題等】

・「**ハード面**」 学童施設に十分な空きがないため、教室が使えるオプションがあれば、受入れキャパのことで悩むことはない。弊害として、低学年だけの受入れになりがちになる状況がある。

・「**ソフト面**」

(指定管理制度に対する不安)

・民間事業者へ丸投げなのか、雇用は維持されるのか、指導員の労働条件や給与面はどうなるのか。

(クラブと学校との連携が薄い、クラブ間の連携も少ない)

子どものことを考えて、関係者が協力して何ができるかを考えられると良いと思うが、現状はそうっていない。それぞれの立場があるのはわかるが、知らぬ存ぜぬで縦割感を出すのは残念。

(福祉的アプローチがあっても良い)

時に、子どもの状況を考えると福祉まるごと相談室や児相など、福祉的な連携もあって良いのではないか。

## コミュニティ・スクール、SNS、スマホ利用について(2, 3班)

(コミュニティ・スクール)

### 【意見・課題等】

・コミュニティ・スクールにおいて、様々な活動、学校での課題等が発信されていないのが現状

・中学校単位で組織されているコミュニティ・スクールと育成会、PTAのすみ分

- け等が整理されていない学校もあり地域にあった組織再編の必要性がある。
- ・学校生活において、非行など問題のある学校において、学校、PTA、地域が一体となって学校運営を運営することを目的に組織されたコミュニティ・スクールの重要性を再認識する議論となった。
  - ・各、コミュニティ・スクールによって温度差は否定できず再検討が必要。
  - ・コミュニティ・スクールや地域活動を通じて、子どもたちが「多様な大人と直接対面して交流できる場づくり」が必要である。
  - ・各学校のコミュニティ・スクール同士の意見交換や情報交換があってもよい。

## (スマホ・SNS)

### 【意見・良い点】

- ・世界中の人と繋がることができる
- ・オンラインの居場所、情報収集や交流
- ・地域を越えて学びやコミュニティが広がる

### 【課題や不安な点】

- ・思考力・創造力・対話力の低下
- ・言葉を知らない
- ・対面でのコミュニケーションへの影響
- ・犯罪などへの巻き込まれ
- ・長時間利用による依存や生活習慣の乱れ
- ・脳への影響

---

## 報告者所感

多くの方に参加をいただき、熱い議論がかわされました。

サブテーマを3テーブルに分け、参加者希望テーマに分散してもらったが、コミュニティ・スクールが多く、急遽2テーブルに拡張しテーマを共有テーマとした。子育て世代から、そうでない世代まで幅広い年代層に参加いただき、それぞれの立場で活発な意見交換ができた。

やはり、それぞれの意見はリアルな現場の声で、意見交換の場として趣旨にかなったものとなった。すべてのテーマにおいて、やはり家庭、学校、教育委員会、地域や行政が一体となり同じ方向を見据え、取組むことが肝要だと感じた。報告会だけの意見として終わらず、継続的な対策や今後に関わる意見として共有をしていきたい。また、こういった交換会の場を増やす事も議会活性化に関わると痛感した。

---

## 議員と話す会の様子

